特定原子力施設監視・評価検討会（第１２３回）
参考５

過去のコメントへの対応状況

ハッチング・・回答期限を設けるもの

ハッチング・・回答・解決済として今回で削除するもの

ハッチングなし・・その他

１．固形状の放射性物質に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答	事業者の回答見込み
燃料デブリ取り出し	デブリ取出し、構内輸送、保管までの計画の全体像を示すこと。（第 85 回）	未回答	－
HIC 内スラリーの移替え	HIC の照射線量や寿命について、2018 年以降のスラリーの状態変化、HIC 移替え後の残存スラリーの線量値から求められる線源強度や今後 HIC 移替え後の内面観察等を考慮して評価を行うこと。（第 88、96 回）	第 89、91、100 回にて回答（継続）	－
	スラリー安定化処理設備が稼働した後も継続的に使用するボックスカルバートについては、HIC に内包されるインベントリや HIC の保管本数等を踏まえ、より堅牢な保管方法にするべく、時期を定めて、Ss900 に対する影響を確認するとともに、必要に応じて、補強策を含めた耐震性を向上した保管方法を検討すること。（第 102 回）	第 103、104 回にて一部回答（継続）	－
	HIC の保管容量ひっ迫リスクを考慮し、HIC の一時的でない保管場所の検討に対する考えを示すこと。（第 106 回）	第 109、115 回にて一部回答（継続）	－
水処理二次廃棄物の処理について	ALPS スラリー安定化処理施設の充填容器、仕様が固まり次第、説明すること。（第 114 回）	第 115 回にて回答	－
	水処理二次廃棄物の固化のための技術選定について、選定過程を明らかにすること。（第 116 回）	未回答	
1 号機原子炉格納容器内部調査の状況	今後の ROV 調査におけるペデスタルの支持機能に対する追加調査の可能性について検討すること。（第 100 回）	未回答	今後の PCV 内部調査の計画において検討し次第回答

分類	コメント内容	事業者の回答	事業者の回答見込み
溶融設備の設置	計画中の溶融設備に関して、検討が進んだ段階で、放射性核種の閉じ込めの仕方等について、説明をすること。（第 120 回）	未回答	－

2．汚染水対策に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答	事業者の回答見込み
炉内冷却の合理化	現状の原子炉注水量、冷却効果（CS 系、FDW 系の特徴）、汚染水発生量（建屋水位）の関係を整理した上で、2 号機 RPV 内部調査より得られた知見から原子炉注水量の変更要否を検討すること。（第 122 回）	未回答	―

3．原子炉建屋内のリスク低減に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答	事業者の回答見込み
1 号機 S/C 水位の低下	S/C の水位のコントロールができない場合の滞留ガスの漏洩リスク、S/C から漏洩する水の量が増加した場合のリスクについて検討すること（第 116 回）	第 116 回にて一部回答（継続）	－
	目標水位にまもなく達するとのことだが、今後のデブリ取り出しなどの廃炉作業計画などを踏まえて、下げていった先のリスクとメリットについて、今後しっかり議論させて欲しい。（第 121 回）	第 122 回にて回答	―
	ＣUW配管の逆止弁の蓋の閉止は、地震のリスクもあるので十分に余裕を持ってなるべく速やかに閉止して欲しい。（第 121 回）	第 122 回にて回答	―

4．設備・施設の維持・撤去に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答	事業者の回答見込み
地下水流入対策	海側対策を含めて、長期的に目指す姿とスケジュール感を示すこと。（第 109 回）	第 110、115 回にて回答（継続）	－

分類	コメント内容	事業者の回答	事業者の回答見込み
令和4年3月16日の福島県沖地震に係る対応	設備の健全性及び建屋の劣化状況等を評価するとともに、解放基盤表面での地震動や地盤応答の増幅特性などを分析・評価し、現在設計で用いている地震動・地盤モデル等の妥当性を検証すること。また、施設・設備の健全性評価に当たっては、全体工程を示した上で、昨年２月の地震との特性の違い（卓越する周期や方向などの違い）やはぎとり波の評価結果を考慮して実施すること。（第 99、100 回）	第 100、101、110、111 回にて回答（継続） 今後は技術会合で議論し、再度検討会へ報告する	
1号機建屋健全性	１号機原子炉建屋屋上部付近へ設置した地震計を含め、地震計のデータを使用して行っている建屋健全性の評価の方法・結果について示すこと。（第 112 回）	第 114 回にて回答（継続）	－
設備・施設の維持・撤去等に係る計画の策定	複数ある ALPS の系統について、長期の運用計画を示すこと。（第 114 回）	未回答	－

5．廃炉を進める上で重要なものに対する対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答	事業者の回答見込み
高線量 SGTS 配管撤去	配管内側で採取したスミヤ試料の核種分析を早期に行うこと。（第 100 回）	第 110 回にて回答（継続）	－
ALPS 処理水の海洋放出	ALPS 処理水海洋放出後のタンクについて、当該タンクのある程度長期的な解体計画について具体的見通しを説明すること。（第 111 回）	第 113 回にて回答（継続）	－
	ALPS 処理水の放出計画に関して、翌年度だけではなく、数年オーダーの期間で示すこと。今後、設備のメンテナンスがあることや敷地内に様々な施設が建設されること等を踏まえ、毎年度、同程度のボリュームで放出されるのかを確認したい。（第 120 回）	未回答	－

6．その他

分類	コメント内容	事業者の回答	事業者の回答見込み
LCO 要件の見直し	2020 年 11 月 12 日に停止した PCV ガス管理システムについて、停止することにより臨界監視機能、安全機能などが失われることの安全上の位置づけについて、窒素封入など関連する機能とともに LCO 要件の見直しの中で検討すること。（第 85 回）	1F 審査・検査見直しで検討後再度報告する。	
設備の重要度分類	１Ｆとしてのリスクに応じた重要度分類を再整理する必要がある。設備の設計・検査を考える上で、全体の重要度を定めて方針を示すこと。（第 101 回）	1F 審査・検査見直しで検討後再度報告する。	
1 号機原子炉建屋南側外壁に確認されたホットスポットについて	汚染の核種やコンクリートへの浸透について、過去の研究等を参考に、汚染のメカニズム等を検討するべき。（第 110 回）	未回答	
トラブルの背景要因等	増設雑固体廃棄物焼却設備の水蒸気発生事象において、発酵・蓄熱・タール発生までの現象を正確に捉えた上で、運用における監視・モニタリング手法への反映を検討すること。（第 113 回）	第 122 回にて回答	